

株式会社 清月記 (宮城野区)



- ◆ 設 立 1985年
- ◆ 代 表 者 代表取締役 菅原 裕典
- ◆ 事業内容 葬祭業
- ◆ 障害のある方の雇用状況
 - ・ 身体障害者 1名
 - ・ 知的障害者 6名
 - ・ 精神障害者 2名
- ◆ ホームページ : <http://www.seigetsuki.co.jp/>



職場実習受け入れを就労支援機関との連携の機会に

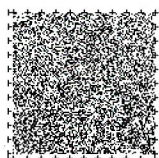
〈各機関へ相談・連携〉

清月記では、障害者雇用に取り組むに当たり、仙台市障害者就労支援センターや就労移行支援事業所など、支援機関の支援を受けて準備を進めました。これにより、障害のある方を採用した後も、指導方法に困った際に支援機関所属時の様子を聞くことができるなど、相談できる先ができたことで、雇用を続けていく安心感につながりました。現在も、支援機関所属の障害者の実習を受け入れるなど、支援機関と緊密に連絡をとっています。支援機関も、職場訪問した際に仕事の様子を伺うなど、障害のある方が安心して仕事を続けられるよう、支援を続けています。

〈障害者雇用の好影響〉

「雇用の継続は、会社の戦力となってこそです。そのためには、成果を具体的に示すことが欠かせません。」とは、担当の日下部課長のお話しです。清月記では、従来は外注してきた返礼品の箱詰めを社内で行うことで、急な変更に対応できる柔軟性が生まれたそうです。更に、従来は発注先企業や、さらにその発注先に確保してきた在庫の大幅削減に成功しました。在庫コストの削減として効果が具体的に見えることで、社内だけでなく、発注先からも喜ばれているそうです。

また、従来は先輩の作業を見ることで覚えていた業務作業手順を体系化し、マニュアルをつかったことで、障害のない職員が新しく業務に取り組む際も効率よく仕事を覚えることができるようになりました。



作業風景